H30年度地域型住宅グリーン化事業　＜高度省エネ型＞

完了実績報告書【ゼロ・エネルギー住宅・棟別様式】の作成要領　【抜粋版】

写真台帳に貼付する対象住宅の写真についての留意点　（1/3）

写真台帳は、対象住宅が完了実績報告書の内容に適合した施工がされていることを報告するためのものであり、工事の進捗等により隠蔽される箇所など、後日確認が困難になるものについては特に重要な要素となります。

留意点をよくご確認の上、撮影漏れの無いよう十分に注意して下さい。

※提出された写真のみでは状況を確認出来ず補足を求める場合もあります。様々なアングルから複数枚を撮影する等、備えておいてください。

1）共通事項

・提出が必要な写真は下記の通りです。

- ・外皮性能に係わる全ての要素
- ・一次エネルギー消費量算定に係わる全ての要素
- ・一次エネルギー消費量算定には反映しないが設置した設備
- ・建物の外観および内観
- ・その他状況に応じ必要なもの

・写真には　日付、採択通知の番号、事業者名、建築主名、工事内容　を明記した**看板**を入れ撮影してください。

・電子黒板を使用する場合は、信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものに限ります。
使用したソフトウェアの名称、バージョンを様式に記入してください。※マニュアル第４章P4-18「⑫対象住宅の敷地写真」参照

・手振れやストロボ等の影響により、撮影対象や看板の文字が不鮮明なものは不可です。

・設置箇所を確認出来る全景を撮影したものと、型番等を確認できるように撮影したものをセットで提出してください。

・必要に応じ、一要素の写真を複数枚提出したり、複数欄を使用し大きな写真を提出していただいても構いません。

2）外観・内観等

外観	・交付申請「様式４ 対象住宅の敷地写真」で提出した敷地写真と同様のアングルで撮影したものを提出すること。
外壁面	・足場撤去後に撮影したすべての外壁面を各一面以上、計４面以上提出すること。 ※すべての開口部を確認出来るように撮影すること。※一枚で納まらない場合は複数枚で一面を撮影しても
内観	・主たる居室（LDK）を一枚以上、その他の居室を一枚以上、室内を俯瞰して確認できるものを提出すること。

3）断熱材

	・各施工部位毎（屋根、天井、外壁、床、オーバーハング部、基礎等）に撮影すること。
	・使用する断熱材の商品名、厚みを確認出来るよう撮影すること。
	・断熱材施工後の全景を確認出来るよう撮影すること。 ※部分的にしか確認できない写真は不可
	・二層貼り等断熱材を複数枚を同一箇所に施工する場合は、その状況を確認できるよう撮影すること。
	・外張断熱・充填断熱の併用等の場合は、それぞれを確認できるよう撮影すること。

4）開口部

玄関ドア	・養生材撤去後、全体を確認出来るよう撮影すること。
	・商品名、型番等を確認出来るラベルを撮影すること。　※小口に貼られている場合が多い
サッシ	・代表的な３～４か所程度についての写真を提出すること。
	・全体を確認出来るよう撮影した写真を提出すること。
	・サッシの商品名、型番を確認出来るラベルを撮影し提出すること。※サッシの右上に貼られている場合が多い
	・ガラスの性能を確認出来る刻印等を撮影すること。　※ガラスの右下にある場合が多い

この部分の刻印です

H30年度地域型住宅グリーン化事業　＜高度省エネ型＞

完了実績報告書【ゼロ・エネルギー住宅・棟別様式】の作成要領　【抜粋版】

写真台帳に貼付する対象住宅の写真についての留意点　（2/3）

5）設備機器

暖房設備 **冷房設備**	・省エネ対策の有無にかかわらず写真を提出のこと。
	・設置箇所を確認出来るよう全景と、型番を確認出来るように撮影したものをそれぞれ提出のこと。
	・設置した室ごとに撮影すること。（主たる居室／その他の居室）
換気設備	・設置箇所を確認出来るよう全景と、型番を確認出来るように撮影したものをそれぞれ提出のこと。
	・ダクト式で本体と給排気部が分かれている場合は、本体の写真を撮影すること。
熱源機 **（給湯器）**	・全景と、型番を確認出来るように撮影したものをそれぞれ提出のこと。
	・熱源部と貯湯部が分かれている場合は、それぞれを撮影すること。
給湯ヘッダー	・給水ではなく給湯のヘッダー部の写真を撮影すること。（一般的には赤、オレンジ等の暖色の配管）
	・白色等の配管を使用し、給水、給湯の目視での判別が難しい場合は両方を撮影すること。
	・熱源機が複数あり、給湯ヘッダーも複数設置の場合はすべての箇所を撮影すること。
水栓金具	・節湯性能の有無にかかわらず撮影すること。
	・設置箇所を確認出来るよう全景と、型番を確認出来るように撮影したものをそれぞれ提出のこと。
	・浴室シャワーはシャワーヘッドおよび洗い場水栓のそれぞれを撮影すること。
	・複数設置する場合は、すべての箇所を撮影すること。
高断熱浴槽	・浴槽の保温部を確認出来るように撮影すること。
	・断熱ふたと浴槽のセットを確認出来るように撮影すること。（浴槽単体で性能が出る場合を除く）
	・出荷証明等での浴槽単体の型番記載が困難な場合は、ユニットバス本体の型番ラベルを撮影すること。
照明設備	・LDK、その他の居室、非居室の代表的な個所をそれぞれ撮影すること。
	・調光が可能な制御、人感センサーを採用している場合は、その部分を確認出来るよう撮影すること。
	※壁スイッチ部での制御、リモコンでの制御、本体のセンサー感知部等、状況に応じ撮影のこと。
太陽光発電設備	・設置したパネルのすべての枚数を確認出来るよう撮影すること。（足場があっても構いません）
	・パネル設置面が複数の場合はすべての面を撮影すること。
	・パワーコンディショナーを撮影すること。
	・HEMSを設置する場合は撮影すること。
	・システム容量が１０kw以上の場合は、メーター部を撮影すること。

6）その他

	・主たる居室と階段室を建具で区切る場合は、その部分を撮影すること。 ※建具を開けた状態、閉めた状態をそれぞれ撮影すること。
	・写真撮影箇所を示した図を添付すること。（マニュアル第４章P4-19　㉛ に該当するもの）
	・改修の場合は、改修前の現状および改修後をそれぞれ撮影すること。

7）写真台帳への貼付

・写真の縦横比を変えずに枠に合わせて大きく貼付すること。

※必要に応じ、一要素の写真を複数枚提出したり、複数の欄を使用した大きな写真を提出していただいても構いません。

・原則、当留意点に記載の順に貼付すること。※外観、外壁、内観→外皮（断熱材、開口部）→設備機器の順になっています。

・写真台帳はカラー印刷で提出すること。

・改修の場合は、改修前の現状および改修後を対照できるよう部位毎に貼付すること。

H30年度地域型住宅グリーン化事業　＜高度省エネ型＞

完了実績報告書【ゼロ・エネルギー住宅・棟別様式】の作成要領　【抜粋版】

写真台帳に貼付する対象住宅の写真についての留意点　（3/3）

グループ番号	1234	事業者番号	00001	

平成30年度　完了実績報告写真台帳　1／10

使用した小黒板情報電子化対応ソフトウェア名：〇〇〇〇　バージョン：1.3

補助事業者名、邸名等を記入した看板は、文字が読めなくては意味がありません。
文字の大きさ、鮮明度等、報告用の資料写真としてふさわしい写真かを十分確認してください。

写真No.		施工部位：外観	写真No.		施工部位：外観

画面には提案内容に係る部分だけを接近して撮影するのではなく、周囲の状況もバランス良く画面に納めて、当該住宅の写真であることが特定できるようにしてください。
全景の写真、型番等の写真をそれぞれ提出してください。

写真No.		施工部位：台所水栓	写真No.		施工部位：台所水栓

こちらの写真は参考例です。撮影する際には、日付、採択通知の番号、事業者名、建築主名、工事内容等を記入した看板を入れ、撮影してください。

写真No.	15	施工部位：LDK～階段室を仕切る建具	写真No.	16	施工部位：給湯ヘッダー